

編 集 後 記

長引く新型コロナ禍は3年目となり、社会経済活動の制限の中、医療現場も日常生活も不自由さが充満する日々です。一方、その背景からITの活用が急速に私達の生活に浸透してきました。学術誌においても同様、投稿、編集システムはもとより冊子体も電子ジャーナル化が主流となってきました。雑誌を手に取り、目次を眺めページをパラパラ捲る、興味ある論文があればじっくりと読む。IT化で囲まれた新しい日常では細やかながら貴重な楽しみです。島根医学の本号42巻1号も最新トピックをテーマとした生涯教育講座や興味深い臨床・研究セッションで充実した内容となっています。手にとっての一読が、忙しい臨床の合間、ひと時の憩いとなれば幸いです。

(Y.S)

島根医学編集委員

児玉和夫，貴谷 光，浅野博雄，大居慎治，齋藤寛治，
齋藤洋司，佐藤比登美，小林祥泰，椎名浩昭，小阪真二，
井岸 正

島根医学

令和4年4月30日発行

発行者 島根県医師会
出雲市湖陵町
編 集 編集者 児玉和夫
発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所